

東京国立 博物館 ニュース



「縄文土器」

「多喜窪遺跡出土の

今号の名品

3ページに
掲載してるほ!



特別展 Information

「仁和寺と御室派のみほとけ」
「アラビアの道」「名作誕生」…… 2
「博物館でお花見を」…… 4~5
今こそ“やきもの”に注目です…… 6

総合文化展 Pick up!

(本館/東洋館/平成館/法隆寺宝物館/黒田記念館) …… 7~11

保存と修理情報④ …… 9/みどりのライオン(教育普及事業) …… 12~13

トーハクくんのなるほトーハク …… 13/イベント&インフォメーション …… 14~15

2018年2-3月の展示・催し物 …… 16



創刊記念『國華』130周年・朝日新聞140周年 特別展

「名作誕生—つながる日本美術—」

4月13日(金)

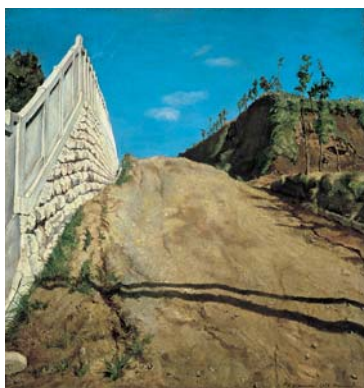
5月27日(日)

平成館
特別展示室

つながりからみえてくる「名作」誕生のドラマ

名作は、ある日突然ひとりの天才がゼロから生み出すものではなく、作品や人とのつながり、模倣や模索のつながりのなかから生まれてきました。これは美術作品のみならず、私たちの身の回りにあるさまざまな物事にも共通する、万物の営みともいえるでしょう。

写實的画風で知られた洋画家・岸田劉生(1891～1929)もまた、デューラーなどの西洋絵画に学ぶ一方で、宋元画や日本の浮世絵などの東洋絵画に学んで意識的にその伝統につながりました。画面いっぱいに描かれた坂が印象的な代表作、重要文化財「道路と土手と堀(切通之写生)」からは、若い頃より親しんだ浮世絵とのつながりを見出すことができます。(瀨谷愛)



◎道路と土手と堀(切通之写生)

岸田劉生筆 大正4年(1915)
東京国立近代美術館蔵



○くたうしがふち

葛飾北斎筆 江戸時代・19世紀

代々木(劉生)と九段(北斎)。異なる時空の坂の頂点が
東京(江戸)の空へとつながっています

関連イベント 事前申込制

記念講演会①「日本美術鑑賞への誘い」

日時:4月14日(土) 13:30～15:00(13:00開場)

講師:小林忠(『國華』主幹、岡田美術館館長)、河野元昭(『國華』編輯委員、
静嘉堂文庫美術館館長)、瀨谷愛(当館保存修復課主任研究員)

記念講演会②「つながる雪舟、つながる若冲」

日時:4月21日(土) 13:30～15:00(13:00開場)

講師:島尾新(『國華』編輯委員、学習院大学教授)、佐藤康宏(『國華』編輯
委員、東京大学教授)、瀨谷愛(当館保存修復課主任研究員)

会場:平成館大講堂

定員:380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

聴講料:無料(ただし本展覧会の観覧券が必要。半券でも可)

申込方法:往復はがきでお申込みください。[往信用表面]に、(1)希望する講演会の
番号(①②いずれか)、(2)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな、(3)代表者の
郵便番号・住所、(4)代表者の電話番号を、[返信用表面]に代表者の郵便番号・住所・
氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

申込先:〒150-8551 東京都渋谷区渋谷1-3-9-3F ユース・プランニング センター内

名作誕生展記念講演会(①②いずれか)係

申込締切:①3月5日(月)必着 ②3月12日(月)必着

観覧料:一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、
高校生900円(700円/600円)* ()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下
無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示
ください) *前売券は2月1日(木)から4月12日(木)まで、東京国立博物館正門チケット
売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式サイト、各種プレイガイドにて販売/お問合せ:
ハローダイヤル 03-5777-8600/展覧会公式サイト <http://meisaku2018.jp/>

「アラビアの道
—サウジアラビア王国の至宝—」

マッカ巡礼の歴史をたどる

1月23日(火)

3月18日(日)

表慶館

アラブ人の商人ムハンマドが神の声を聞いたことが、イスラーム教の始まりでした。聖地マッカ(メッカ)に巡礼することはムスリム(信者)の義務とされ、現在でも毎年多くの人々がマッカを訪れ、カバ神殿の周囲をめぐるります。

本展では、カバ神殿でかつて使われていた扉のほか、巡礼の道に沿って立てられた道標、沿道で出土したラスタール陶器やガラス器などを展示します。巡礼によってマッカが世界につながっていたことがうかがわれます。(白井克也)

香炉

オスマン朝時代・1649年
サウジアラビア国立博物館蔵
オスマン朝の首都イスタンブルで
作られ、マッカに奉納されました。
金銀象嵌で植物文様が表されています



観覧料:総合文化展の料金でご覧いただけます/お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600



国立博物館合同企画特別展

「東アジアの虎美術—韓国・日本・中国—」

1月26日(金)▶3月18日(日) 韓国国立中央博物館

特別展

「仁和寺と
御室派のみほとけ
—天平と真言密教の名宝—」

1月16日(火)

3月11日(日)

平成館
特別展示室

天平彫刻の大傑作、ついに東京にお出まし!

千手観音は、無数の手をあらわして救済の力が強力なことを示す、観音のなかでももっともパワフルな観音の一つです。葛井寺の本尊、千手観音菩薩坐像は、奈良時代の前半につくられた、日本における現存最古の千手観音像として知られています。しかも、実際に千本の手をあらわす千手観音像は、本像を除くと日本には数例しかありません。胸前の合掌手を除いた大手と小手は、まるで孔雀が羽をひろげるかのように像の背後に配置されており、調和のとれた実に美しい姿をみせています。

本像は毎月18日と8月9日のみ
開扉される秘仏で、関東にお出まし
になるのは、江戸時代初期以来の
ことです。江戸の人々も魅了された
に違いない天平彫刻の傑作をご堪能
ください。(皿井舞)

◎千手観音菩薩坐像

奈良時代・8世紀 大阪・葛井寺蔵

展示期間:2月14日(水)～3月11日(日)

柔らかな起伏のある肉身など、天平彫刻
の写實的な表現にご注目ください



観覧料:一般1,600円(1,300円)、大学生1,200円(900円)、高校生900円(600円)* ()内は
20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者
手帳などをご提示ください) /お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600/展覧会公式サイト
<http://ninnaji2018.com/>

今号の名品

2018年2 - 3月号

多喜窪遺跡出土の縄文土器

通年
平成館考古展示室

ユニークで美しい立体装飾、考古学的にも重要な土器群



①～⑨:

◎深鉢形土器

東京都国分寺市

多喜窪遺跡第1号住居跡出土

縄文時代(中期)

前3000～前2000年

器高15.8センチ～35.6センチ

東京・武蔵国分寺蔵



①(真上から見た様子)

今から約1万3000年前、日本列島で土器づくりが始まりました。縄文時代の幕開けです。以後、1万年間にわたってバラエティー豊かで地域色あふれた縄文土器が生み出され、草創期、早期、前期、中期、後期、晩期の6つの時期に区分されています。

今回ご紹介する土器が出土した多喜窪遺跡は、東京都国分寺市にある縄文時代中期の集落跡です。遺跡のある国分寺屋敷と呼ばれる高台の縁の下では、今でも豊富な湧き水が湧いており、周辺には多くの縄文時代の遺跡が眠っています。

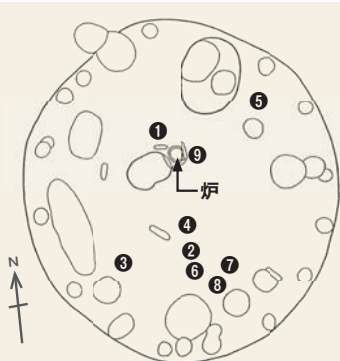
昭和24(1949)～25(1950)の発掘調査では、地表下約1.25メートルもの深さから、円形の竪穴住居跡が見つかり、床面に近い場所からほぼ完形の土器が次々と出土。この時の土器が発見された位置を示したのが左下の図です。土器は住居跡の南に集中し、住居の中央には土器(⑨)を埋めて石で囲った炉跡が発見されました。

これらは縄文土器研究の先駆けと

なった重要な土器群ですが、なかでも特に注目すべきは①の土器です。大きく発達した四つの把手とは対照的に、「く」の字状にくびれた胴部が特徴です。粘土の貼り付けや彫刻的な沈線(うんせん)で立体意匠が表され、胴部に縄目が重厚に施されています。発掘当時この独特な器形が注目され、以降、同様の土器は「多喜窪類型(タイプ)」と呼ばれています。

一つの住居跡からユニークな土器がまとまって発見されたことが評価され、昭和50年(1975)に重要文化財に指定されました。縄文時代中期には炎のような立体的な装飾でおなじみの火焰型土器や国宝「土偶縄文のビーナス」(長野・茅野市蔵)など、技巧的に優れた作品がたくさんあります。今回の土器も縄文美の傑作のひとつ。ぜひ考古展示室でご覧ください。(井出浩正)

『東京国立博物館 ニュース』
名品スタンプラリー
★2023月のスタンプ設置場所…
平成館インフォメーション
※スタンプ帳の配布は終了しました。



多喜窪遺跡第1号住居跡の
土器の出土位置(上から見た図)

※1986『国分寺市史 上巻』(国分寺市史編さん委員会編)をもとに作図。

※①～⑨は、平成館考古展示室での展示番号です。

博物館でお花見を

春になりました！トーハク春の一大企画、「博物館でお花見を」が今年も始まります。本館の各展示室では桜をモチーフにした名品が満開で皆様をお迎えします。また当館自慢の庭園では約10種類の桜がお楽しみいただけます。関連イベントも盛りだくさん。今年もトーハクならではの贅沢なお花見をどうぞお楽しみください。

3/13(火)

4/8(日)

400年前からお花見が大好き！

●花下遊楽図屏風

狩野長信筆 江戸時代・17世紀
本館2室

満開の桜の下、歌舞音曲の宴を楽しむ人々の姿が400年前のお花見の賑わいを今に伝えます。

*右隻の中央部分は関東大震災で失われました

3月26日(月)・
4月2日(月)は
特別開館だほ



トーハクくん
東京国立博物館
公式キャラクター

展示室も庭園も桜が満開！

花に誘われ、 酒に酔う

●飛鳥山花見

鳥居清長筆 江戸時代・18世紀
3月20日(火)～
本館10室

飛鳥山は8代將軍吉宗ゆかりの桜の名所で、花見客で賑わいました。ちょっと飲み過ぎた美人の姿も。

(3枚続のうち)

京都の桜といえば、 風光明媚な嵐山

●嵐山春景

塩川文麟筆 明治6年(1873)
塩川文麟氏寄贈
3月20日(火)～
本館18室

手前に桂川が流れ、山の斜面に桜が満開。嵐山は、平安時代以来の桜の名所の一つです。

◆ボランティアによるガイドツアー

桜になんだ作品や構内の桜など、さまざまなテーマで「トーハクの桜」をご案内します。
*日時・テーマは本誌16ページ(3月分は号、4月分は次号)、当館ウェブサイトでご確認ください。

◆東博句会「花見で一句」

桜咲く庭園や桜をモチーフにした作品をテーマに一句詠んでみませんか？ 応募は構内4ヵ所に設置された投句ポストまで。入選作品は本誌8-9月号、当館ウェブサイトにて発表、記念品を贈呈します。「博物館でお花見を」期間中、毎日受付。

◆ボランティアによるアートスタジオ 「桜の根付作り」

事前申込制

展示室で根付の展示を見学した後、桜をテーマにオリジナルの根付を制作します。

日時:3月24日(土) 13:30～15:30

対象:高校生以上 *詳細→13ページ

◆ボランティアによる庭園茶室ツアー

「草庵茶室に入ってみよう！」

事前申込制

通常のガイドツアーでは入らない「六窓庵(ろくそうあん)」[転合庵(てんごうあん)]の内部までご案内します。

日時:3月15日(木) 11:00～12:00

*悪天候の場合は中止することがあります。

*詳細→13ページ

◆ボランティアによる

「応挙館 桜茶会」

事前申込制

庭園の応挙館でお茶を召し上がっていただきます。

日時:3月25日(日)

①11:00～12:00 ②13:00～14:00(各回とも同じ内容)

参加費:500円(別途、当日の入館料が必要)

*悪天候の場合は中止することがあります。

*詳細→13ページ

◆桜の街の音楽会

「東京・春・音楽祭」(→14ページ)参加アーティストによる無料のミニコンサートです。

*各回20分程度

3月29日(木) 13:00～

対馬哲男(ヴァイオリン) 会場:本館大階段

4月2日(月) 11:00～

Vive! サクソフォン・クワルテット

会場:正門前(雨天時は本館前)

4月2日(月) 13:00～

坂東真奈実(ヴァイオリン) & 黒川実咲(チェロ)

会場:法隆寺宝物館エントランス

主催・お問合せ:東京・春・音楽祭実行委員会

(TEL:03-5205-6497)

ウェブサイト <http://www.tokyo-harusai.com/>



色鮮やかな枝垂桜が 優雅になびきます

ふりそで そめわけちりめん じし たれさくらまくだんさくもよう
✳️ 振袖 染分縮緬地枝垂桜菊短冊模様

江戸時代・18世紀

本館10室

枝垂桜が肩にかかる模様が優美な友禅染。模様を上下に分けるスタイルは江戸時代中期の流行。



春らんまんのトーハクは

中を見ても外を見ても 桜・桜・桜！

いろえ おうじゅ すずかしはち
✳️ 色絵桜樹図透鉢

仁阿弥道八作 江戸時代・19世紀

本館13室

ぜひ真横からご覧ください。
透かし表現を通して、鉢に広がる満開の桜がより楽しめます！



日本一の桜の名所、 吉野山に桜が満開！

よしの やまさき えなな
✳️ 吉野山蒔絵棚

江戸時代・19世紀 矢野鶴子氏寄贈

本館8室

全面に桜花爛漫の山水を描き、平安時代から続く桜の名所、吉野山を表現しています。



(引戸部分)

春の庭園開放

本館北側の庭園を期間限定で開放します。ソメイヨシノをはじめ、オオシマザクラ、枝垂れのエドヒガンザクラなど、約10種類もの桜が次々と開花し、春こそがベストシーズン。期間中は庭園内にさくらカフェもオープンします。池のほとりのベンチでゆっくりおくらぎいただけます。

また、庭園内にある茶室「転合庵」は小堀遠州が八条宮から茶入「於大名」を賜った折、その披露のために京都伏見の六地藏に建てた茶室です。この転合庵ゆかりの茶入もあわせてご覧ください。

開放期間: 3月13日(火)～5月20日(日)

10:00～16:00

* 3月30日(金)・31日(土)、4月6日(金)・7日(土)は
ライトアップを実施(19:30まで)

* 悪天候により中止になる場合があります。



みづつきやいれ おひいみょう
耳付茶入 銘 於大名

瀬戸 江戸時代・17世紀

塩原千代氏寄贈
～3月18日(日)

本館4室

今年の開放期間は
過去最長です！

ユリノキちゃん
東京国立博物館
公式キャラクター



桜イベントも満開！

特記以外はすべて参加無料(ただし当日の入館料が必要)、事前申込み不要です。

✳️ 桜スタンプラリー

展示室をめぐって、スタンプを集めてください。5つ全てを集めた方にオリジナルバッジをプレゼント。「博物館でお花見」期間中、毎日開催します。

台紙の配布・バッジの引換え場所: 本館エントランス(バッジの引換えは10:00～閉館まで)

バッジは全部で2種類
ご用意しています



✳️ 鑑賞ガイド

桜作品の見どころをダイジェストでご紹介します。

会場: いずれも本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

日時: 3月23日(金) 14:00～14:30

講師: 小島有紀子(教育講座アソシエイトフェロー)

日時: 3月28日(水) 14:00～14:30

講師: 勝木言一郎(教育講座室長)

✳️ 桜ギャラリートーク

会場: いずれも本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

【古典の香り「春」】

薫物を焚きながら、いにしへの春の香りについてお話しします。

日時: 3月30日(金) 14:00～14:30

講師: 田邊留美子(登録室アソシエイトフェロー)

【国宝「花下遊楽図屏風」を楽しむ】

今から400年前のお花見を描いた作品の魅力をご紹介します。

日時: 4月4日(水) 14:00～14:30

講師: 大橋美織(絵画・彫刻室研究員)

✳️ 日本文化との出会い(3月)

【トーハク能「嵐山」】

桜にちなんだ春の能を上演します。

日時: 3月30日(金) 18:40～(18:10開場予定)

* 60分程度、詳細→14ページ

✳️ 桜セミナー

* 詳細→12ページ

【桜咲く絵画の世界】

桜は、日本人に最も親しまれている花ではないでしょうか。桜の描かれた絵画を紹介し、その人気の秘密を考えます。

日時: 4月7日(土) 13:30～15:00(13:00開場予定)

講師: 田沢裕賢(学芸研究部長)

✳️ 桜ワークショップ「春らんまん 桜ぬりえ」

桜をモチーフにした展示作品のぬりえです。思い思いに色をつけ、自分だけの春らしい作品をつくりましょう。展示室にある作品の色づかいにも注目してみてください。

日時: 3月29日(木)～

4月2日(月)

各日11:00～16:00

* ぬりえシートがなくなり次第終了

会場: 本館2階ラウンジ



今こそ“やきもの”に注目です

新・重文を
展示中



はくじちようほたんうきもんたいへい
◎白磁蝶牡丹浮文大瓶

三代清風与平作 明治25年(1892)
シカゴ・コロンブス世界博覧会事務局
展示期間：～3月18日(日)／本館18室
三代清風与平は、近代を代表する京都の陶工です。中国古陶磁の研究、釉薬の開発に取り組み、この白磁も与平が得意とした表現の一つです。2017年に新たに重要文化財に指定されました。見事な浮彫表現にご注目ください。

当館所蔵「白磁蝶牡丹浮文大瓶」が、2017年、新たに重要文化財に指定されました。そこで今号では、やきものに注目! 「作り手」と「コレクター」、二つの視点からトータルな陶磁作品をご紹介します。

作り手に注目

特集「江戸後期の京焼陶工 —奥田颯川と門下生を中心に—

2月6日(火)～4月22日(日) ▶本館特別2室◀

江戸時代後期に活躍した陶工・奥田颯川は、中国趣味や煎茶が人気を博していた時代の流れに応じ、京都で初めて磁器を焼成しました。その門下生は京都だけでなく、各地の藩に招かれるなどして御庭焼の開業や発展に寄与しました。会場では颯川と門下生それぞれの作品と、関わりのあった地方窯の作品を展示します。(横山梓)

おくだ えいせん

奥田颯川

いろ え ひ ほうもんすみきりせん
○色絵飛鳳文隅切膳

江戸時代・18～19世紀
大河内正敏氏寄贈



きん こどう きすけ
欽古堂亀祐

型物成形を得意とした欽古堂亀祐(1765～1837)。青磁の研究にも励み、招聘先の三田(兵庫県三田市)の青磁発展にも寄与しました。

せいじじんぶつおきもの
青磁人物置物

三田 江戸時代・19世紀



あお き もく べい
青木木米

自らを「識字陶工」と呼んだ青木木米(1767～1833)。漢詩を書き込んだ茶壺など、文人らしい作風が表れた煎茶具一式をご紹介します。

そめつけしふんよほうちゃこ
染付詩文四方茶壺
(煎茶具一式のうち)

江戸時代・19世紀



にん な み どう はち
仁阿弥道八

乾山に倣い、和様の作品にも多く取り組んだ仁阿弥道八(1783～1855)。桜と楓を一つの鉢に表した「雲錦手」は代表的な作例です。

いろ え ふうもんもっこうがたばち
色絵桜楓文木瓜形鉢

江戸時代・19世紀



初代清風与平は
仁阿弥道八に
師事しました

コレクターに注目

ひろたふっこさい 広田不孤斎コレクション

2月6日(火)～5月20日(日) ▶東洋館5室◀



ごさいきんらんてろくかくもんはち
五彩金欄手鹿鶴文鉢

中国・景德鎮窯 明時代・16世紀

不孤斎の目の高さを示す、金欄手出色の作品。壺中居を一緒に創設した友人西山保の33回忌を機に寄贈されました。

とうさいそくれんもんはち
豆彩束蓮文鉢

中国・景德鎮窯
「大清雍正年製」銘
清時代・雍正年間
(1723～35年)

青花の輪郭が爽やかなこの鉢は、清の雍正官窯で焼かれた豆彩の名品として知られています。不孤斎はこれを水指に見立てて用いました。



なんきんあかえれんろもんておけがたちいれ
南京赤絵蓮鶯文手桶形茶入

中国・景德鎮窯
明～清時代・17世紀

鴻池家伝来と伝わる茶器です。不孤斎は茶の湯にも通じ、コレクションのなかにも茶湯道具に見立てられた愛らしい器が数多く含まれています。



広田不孤斎(松繫／1897～1973)は、弱冠27歳にして日本橋に古美術店壺中居を構え、昭和47年(1972)には約500点にのぼる東洋陶磁コレクションを当館へ寄贈した人物です。ここでは鋭い鑑識眼で知られる不孤斎が選り抜いた中国陶磁の名品をたっぷりご紹介いたします。(三笠景子)

Pick up!

本館

修理の成果をお披露目

特集「東京国立博物館」

コレクションの保存と修理

3月13日(火)～4月8日(日)

特別1室

当館では、収蔵しているコレクションをより良い状態で皆様にご覧いただけるよう、展示室や収蔵庫内の環境を管理し、必要に応じて修理を行いながら作品を維持しています。この特集では、修理を終えた作品を展示し、修理方法の解説などを添えて、文化財を長く伝えていくための当館の取り組みをご紹介します。



年中行事図屏風
狩野益信(洞雲)筆
江戸時代・17世紀
識訪多辰治氏寄贈

屏風装を解体し損傷部を補修。骨下地・金具等も新調しました

今回は昨年修理を終えたものを中心に、狩野益信筆「年中行事図屏風」や、「小忌衣 浅葱天鷲絨地菊水模様」など17件の作品を展示いたします。美しさを取り戻した作品をぜひご覧ください。

(宮田寛寛)

本館

特別展の作品と見比べてみよう

孔雀明王図像

2月6日(火)～3月18日(日)

3室 仏教の美術



孔雀明王図像 平安時代・12世紀
当館所蔵の国宝「孔雀明王像」(写真左、展示予定なし)と同じ系統の図像を示しています

この期間、本館3室「仏教の美術」の絵画のコーナーでは、特別展「仁和寺と御室派のみほとけ―天平と真言密教の名宝―」(↓2ページ)に関連して、密教絵画を中心に展示します。特別展で注目の作品の一つが、北宋絵画の名品、仁和寺所蔵の国宝「孔雀明王像」(↓2月12日(月・休))です。それと対比して、3室では平安期の孔雀明王図像を展示します。白描図像ではありますが、空海請来の唐代の図様に源流をもつと考えられる、正面観を強調した力強さが特徴の作品です。宋代の作例との違いを、日本化への過程も加味して想像しながら見比べるのも一興かと思えます。(沖松健次郎)

本館

富裕層から庶民の雛人形まで
今年は関東のおひなさまを紹介

特集「おひなさまと日本の人形」

日本の人形

2月27日(火)～3月18日(日)

14室

3月3日は桃の節句。華やかで楽しいおひなさまの季節です。今年は関東地方に焦点をあてた展示を行います。江戸の有力な豪農であった日比谷家伝来の古今雛や、三谷家伝来の牙首雛といった富裕層の雛人形とともに、越ヶ谷雛や鴻巣雛といった庶民の雛人形もあわせて展示することで、関東における雛文化を概観したいと思っています。また日本人の人形の一例として、嵯峨人形や賀茂人形といった関西で製作された木彫人形も展示します。これら人形の名品を通じて、繊細で美しく、そしてかわいらしいものを尊ぶ日本の美意識を感じていただければ幸いです。(三田覚之)



古今雛 末吉石舟作
江戸時代・文政10年(1827) 山本米子氏寄贈
目にガラスをはめ込み、表情も写実性の高い作りで、江戸時代の関東で好まれました

本館

今年は伊能忠敬没後200年

重文 九州沿海図

1月30日(火)～3月18日(日)

15室 歴史の記録



九州沿海図(小図)
伊能忠敬作 江戸時代・19世紀
近代以前の日本の測量技術を示す正確さと美しさを兼ね備えた実測図です

文化6年(1809)から8年にかけて、伊能忠敬とその測量隊が九州を実測した成果に基づく地図(伊能図)です。伊能図は縮尺に応じて大図、中図、小図に分類され、写真の図は小図(縮尺43万2000分の1)です。正確さと地図としての美しさを兼ね備えた伊能図の特色をよく示しています。他に中図(1枚)、大図(21枚)ともセツトで残っています。描かれていない現在の福岡、佐賀、長崎などは、この時測量できなかった地域で、文化8年(1811)からの第2次測量で実測が行われました。今回は、小図のほか大図(第十五)を展示します。(田良島哲)

東洋館

中国近代書画の真価を見出した
コレクターの眼「橋本コレクション」の
近代絵画

3月6日(火)～4月15日(日)

8室 中国の絵画

橋本末吉氏(1902～91)は東
京に生まれ、慶応義塾大学卒業後、大
蔵省に入省。のちに実業界で要職を歴
任し、長く大阪・高槻に居を構えまし
た。戦後は中国書画の収集に力を注ぎ、
それまで評価の定まっていなかった近
現代の書画の価値をいち早く見抜いて、
素晴らしいコレクションを形成しまし
た。今回は、厚みのある色彩の諧調が
美しい清時代末の上海の画家や、海外
体験を通じて中国絵画の近代化を進め
た中華民国時代の画家の作品を中心
に展示します。世界的に評価の高い橋本
コレクションから、中国近代絵画の流
れをお楽しみください。

(部分)

富貴一品図軸 真然筆
中国 清時代・19世紀 個人蔵
牡丹(富貴)と鶴(最高位の官
僚)を濃艶に描いた力量を橋
本氏は評価しました

(富田淳)

東洋館

あこがれの磁器をガラスで!

ガラス水注・ガラス杯

6月17日(日)

10室 朝鮮の仏教美術



ガラス水注(写真右)・ガラス杯(写真左)

伝朝鮮延白出土 高麗時代・11～12世紀

小倉コレクション保存会寄贈

杯の外側には青いガラスで斑点がつけられています

褐色に発色するガラスの水注と杯
は、黄海道の延白で発見されました。
高麗の都があった開城から、西に向か
う主要な経路上にあります。重要な寺
に奉納されたものかもしれません。こ
れらは西アジアで作られたイスラーム
ガラスと考えられています。杯の高
台の部分は形がきれいに整えられ、全
体の形から見ても中国・宋時代の磁器
に範をとっています。中国のすぐれた
磁器をガラスで再現するよう、西アジ
アに発注されたガラスが、何らかの経
緯を経て高麗にもたらされたのでし
ょう。

(白井克也)

東洋館

強力な毒蛇の力にあやかりたい

佩刀

1月30日(火)～4月22日(日)

13室 アジアの民族文化



(部分)

佩刀

台湾南部 19世紀後半～20世紀前半
赤と黒に体を塗り分けた毒蛇が佩刀
の鞘に表されています台湾にいる先住民族は16部族とさ
れており、その一部族であるパイワン
族が佩用した刀です。鞘の末端のほ
うには、四角い頭をもったギザギザの
体の蛇が彫刻されています。また、刀
の鞘の形を見ると、鞘尻がキュッと跳
ね上がっています。これも鞘を蛇に
見立てた形をしています。なぜ、この
ように蛇が好まれたのでしょうか?
それはパイワン族が自らの祖霊を
「百歩蛇」という毒蛇であると信じて
いたからです。その名前
の由来は、「この蛇に噛ま
れたら百歩も歩かないう
ちに命を失う」という意味
があります。(猪熊兼樹)

東洋館

「普段使いの小物に彩りを」
遊牧民の美意識を見る

「遊牧民の染織」

4月8日(日)

13室 アジアの染織

馬頭飾 赤地二重
波線文様刺繍
フェルトアフガニスタン
20世紀
小西明人氏寄贈
アップリケや毛髪で
装飾した華やかな
色使いが魅力です毎年1回、東洋館13室では、遊牧民研
究家・松島清江氏が1960年代から
1980年代にかけて現地で収集した遊
牧民の染織を展示しています。アジア各
地で遊牧を営んだ部族が、自らの生活の
ために、家畜の毛をつむいで作られたハン
ドメイドの袋や敷物で、各部族の特色あ
る色と文様の世界がくりひろげられます。
遊牧民にとって移動の手段として重要
な役割を担っていた馬の頭部に被せる飾
りもあります。家畜の毛を多彩に染めて
圧縮したフェルトを切り繋いだ装飾品に、
生活に彩りを求めた遊牧民の思いが感じ
られます。

(小山弓弦葉)

Pick up!

早いもので2月となりました。今さらと思われるかもしれませんが、今年の干支にちなみ、かわいらしい犬の埴輪をご紹介します。

この犬、首輪をはめているところからすると飼った犬であることがわかります。様々な物語を表現する埴輪のなかで、犬が登場するのは狩りの場面。耳と尻尾を立てて獲物を威嚇し、息を切らしているのか舌を出しています。昔から、犬が人間のパートナーとして活躍していたことがわかります。(山本亮)



工モノは猪。今年(戌)が来年(亥)を追いかけています



埴輪 犬

群馬県伊勢崎市大字境上武士字天神山出土 古墳時代・6世紀

平成館

かわいく見えて狩りの真つ最中

埴輪 犬

6月3日(日)

考古展示室

法隆寺宝物館

日本最古の「孫の手」

重文 如意

通年

第5室



◎如意

平安時代・天曆11年(957)
仏教で広く用いられる如意の中で、日本最古の物として特に貴重です

仏教で用いる道具には修法で使われる「法具」と、僧侶の生活に用いられる「僧具」が存在します。如意とは、元来はいわゆる「孫の手」であり、遠くのものに意の如く手が届くことからこの名があります。仏教においては、松子や杖とともに儀式の場で僧侶が手に持ち、威儀を正すための僧具として用いられました。

この如意は大きな雲形の頭部全体に宝相華唐草を線刻した華やかなもので、天曆11年(957)の針書銘があることから年代のわかる如意としては日本最古の作例です。(末兼俊彦)

黒田記念館

洋画のあるべき姿を伝えたい

花野

2月6日(火)～3月18日(日)

黒田記念室



花野 黒田清輝筆

明治40～大正4年(1907～15)

黒田清輝の作品の中でも最大級の画面で、その意気込みがうかがえます

明治時代に、洋画家の黒田清輝が多くの作品を次々と発表して、世間の注目を集めたことはよく知られています。フランスで美術を学んだ黒田にとって、裸体を描くことは制作の基本でしたが、一方で西洋のアカデミックな美術教育が最終目標としたのは、複数の人物像からなる群像表現でした。その点で3人の裸婦像からなる「花野」は、黒田が洋画としてあるべき姿を示そうとした作といえます。とりわけ野につどう裸婦群像を明るく彩色でとらえた作風は、黒田の師であるラファエル・コランからの影響が色濃く見て取れます。

(東京文化財研究所・塩谷純)

1000年後の未来に バトンタッチ!

保存と修理情報 45

文化財修理や保存箱に用いる材料

修理や保存箱に

使用する材料は、有害なガスを発生せず、長期にわたって変化が少ないものを選びます。

特に文化財の補強に用いられる材料には、次の修理でオリジナルを傷つけることなく除去できるといった条件

も付加されます。和紙や正数糊のような伝統的材料は、歴史がその優れた性能を証明しています。一方、化学的に合成された材料については歴史が浅く、時間経過での変化が未知数ですが、最近では使い勝手の良いものが市場に出ています。当館ではテストで安全性の確認を行います。現段階でテストに合格した材料であっても、長期的に安全であるという確認が必要であるため、5年後用、10年後用のサンプルを準備しています。処置後も作品を見守っていくことが私たちの役目です。

(土屋裕子)



文化財保存用の中性紙箱と同材料のサンプル。5年後、10年後に再びテストして、ガスが発生していないかどうかを確認する

3月

示案内

- 1-1: 日本美術のあけぼの一縄文・弥生・古墳
 1-2: 仏教の興隆—飛鳥・奈良
 2: 国宝室
 3-1: 仏教の美術—平安～室町
 3-2: 宮廷の美術—平安～室町
 3-3: 禅と水墨画—鎌倉～室町
 4: 茶の美術
 5-6: 武士の装い—平安～江戸
 7: 屏風と襖絵—安土桃山・江戸
 8-1: 暮らしの調度—安土桃山・江戸
 8-2: 書画の展開—安土桃山・江戸
 9: 能と歌舞伎
 10: 浮世絵と衣装—江戸

11: 彫刻

12: 漆工

13-1: 金工

13-2: 刀剣

13-3: 陶磁

14: 特集

15: 歴史の記録

16: アイヌと琉球

(17: 保存と修理)

18: 近代の美術



-4/15日

色絵椿松竹梅文透入重蓋物

京焼 江戸時代・18世紀

器の内面にも、
金彩を交えて
松・竹・梅を華
やかに描いて
います



よし の やせまき えりな

吉野山蒔絵棚

江戸時代・19世紀

矢野鶴子氏寄贈

→5ページ



見性成佛

2/6日-3/18日

行書対聯「直指人心 見性成佛」

清蔵宗渭筆 江戸時代・17世紀 松平直亮氏寄贈
 禅の基本精神を示す語の一つ。清蔵宗渭は書画に優れた禅僧でした



3/20日-4/15日

源氏物語図

屏風(絵合・胡蝶)

狩野晴川院(養信)筆

江戸時代・19世紀

(胡蝶部分)

-2/18日

厚板 藍地唐獅子模様

江戸時代・17世紀

中国の瑞獣である獅子。コロコロとした愛らしい姿に注目です



2/20日-4/22日

厚板 紅緑段雲矢模

江戸時代・19世紀



2/6日-3/18日

山水図 伝周文筆

室町時代・15世紀

山本義章氏寄贈

もとは障壁画の一部です。左右に広がる大画面を想像してください

(右隻部分)



3/20日-4/22日

四季山水図屏風

伝周文筆 室町時代・15世紀

四季おりおりに美しい大自然を居ながらに味わえます

-3/18日

黒楽茶碗 銘 かのご班

一入作 江戸時代・17世紀 広田松繁氏寄贈

樂家4代の作。この茶碗にも現れる朱釉(しゅぐすり)は、一入(いちにゅう)が完成させました



3/20日-6/10日

色絵桜川文徳利

伊万里

江戸時代・17世紀

広田松繁氏寄贈



-2/12日・日

白糸威二枚胴具足

江戸時代・17世紀

徳川義寛氏寄贈

尾張徳川家初代・徳川義直(1600～50)の所用と伝える具足です



2/14日-5/6日

金小札紅糸中白威 腹巻

安土桃山時代・16世紀

伝統的なかたちですが、華やかな仕立てに時代の好みが見られます

2/6日-3/18日

海辺老松図襖(旧帰雲院障壁画)

円山応挙筆

江戸時代・天明7年(1787)

川崎武之助氏寄贈

もと京都・帰雲院(南禅寺塔頭/たつちゅう)の襖。応挙の墨絵の最高峰です



3/20日-4/22日

観桜図屏風

住吉屋慶筆

江戸時代・17世紀

西脇健治氏寄贈



(部分)

本館 2F: 1~10



-7/16日・日

埴輪 踊る人々

埼玉県熊谷市 野原古墳出土

古墳時代・6世紀

踊る人か、馬をひく人とみられる、独創的な造形の人物埴輪です

-5/6日 土偶

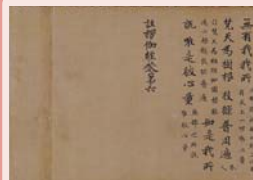
山梨県笛吹市御坂町

上黒駒出土

縄文時代(中期)

前3000～前2000年

宮本直吉氏寄贈



2/6日-3/18日

古経貼交屏風

奈良～鎌倉時代

8～13世紀

松永安左工門氏寄贈

奈良から鎌倉時代の古

経31枚を料紙や書体を

考慮し配置しています

3/20日-4/22日

註榜伽経断簡

奈良時代・8世紀 植村和堂氏寄贈

大ぶりに書かれた大字経で、奈良時代大字写経の名品です

3/13日-4/8日

花下遊楽図屏風

狩野長信筆 江戸時代・17世紀

→4ページ



(左隻部分)

-3/11日

賢愚経(大聖武)

伝聖武天皇筆 奈良時代・8世紀

「大聖武」と称される雄渾な

書風の『賢愚経』断簡です

この断簡は、奈良時代に書かれた『賢愚経』の一部で、雄渾な書風が特徴です。断簡の文字は、大聖武天皇の筆と伝わる。断簡の文字は、大聖武天皇の筆と伝わる。断簡の文字は、大聖武天皇の筆と伝わる。

(部分)

3/20日-4/22日

天狗草紙(東寺・醍醐寺巻)

鎌倉時代・13世紀

醍醐寺清瀧会(校会)の場面。満開の桜と稚児の衣装の色の対比も美しい



(部分)



2/6日-3/18日

孔雀明王図像

平安時代・12世紀

→7ページ

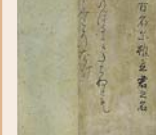
2/6日-3/18日

万葉集巻四断簡(桐尾切)

源兼行筆 平安時代・11世紀

柳澤敬素氏寄贈

五万葉集の一つ。源兼行筆の漢字と仮名が同時に楽しめます



(部分)

3/20日-4/22日

観図屏風

室町時代・16世紀 岡崎正也氏寄贈

繋かれた馬とともに、囲碁などに興じる人々や猿などの動物を描く大変にぎやかな屏風



(左隻部分)

14



-2/25⑩

◎刀 金象嵌銘 光忠

本阿(花押) 鎌倉時代・13世紀

◎太刀 銘 光忠 鎌倉時代・13世紀

光忠の銘のある作例は数えるほど。銘のある太刀(下)と後世に光忠作とされた刀(上)、似たところはどこでしょうか



2/27⑩-3/18⑩

古今雛 末吉石舟作

江戸時代・文政10年(1827)

山本米子氏寄贈 →7ページ



3/20⑩-4/22⑩

能面 般若 「近江打」 朱書

江戸時代・17~18世紀

15



3/20⑩-4/15⑩

文久遣欧使節「竹内保徳」写真

ロビラール撮影

江戸時代・文久2年(1862)

文久2年に幕府が欧州に派遣した使節団の正使。パリで撮影されました



1/30⑩-3/18⑩

◎九州沿海図(小図)

伊能忠敬作 江戸時代・19世紀

→7ページ

16

2/27⑩-5/20⑩

アイヌ鍬形 北海道アイヌ

北海道栗山町角田字桜山出土

19世紀

尾田勝吉氏・泉麟太郎氏寄贈



-2/25⑩

首飾

北海道アイヌ

19世紀

徳川頼貞氏寄贈

儀式で身につけられた首飾は、母から娘へと代々伝えられた宝物



18



-2/12月・休

無我 横山大観筆 明治30年(1897)

「無」の概念を表して、新しい日本絵画の創造を試みました



2/14⑩-3/18⑩

四条大橋(都(京名所)八題のうち)

前田青邨筆 大正5年(1916)

京都の八つの名所の連作で、墨の味わいに重点を置いた作品です



3/20⑩-5/6⑩

◎嵐山春景

塩川文麟筆

明治6年(1873)

塩川文麟氏寄贈

→4ページ

本館1F:11~16,18

11

2/6⑩-4/15⑩

◎不動明王立像

平安時代・11世紀

岡野哲策氏寄贈

サクラ材の像。両目を見開いて上歯で下唇を噛むという顔は、空海が請来した曼荼羅ゆかりのものです



◎十一面観音菩薩立像

中国 奈良・多武峯伝来

唐時代・7世紀

白檀という香木から全身を緻密に彫り出した、初唐期の檀像彫刻の名品です



12

-4/8⑩

◎塩山蒔絵硯箱

室町時代・15世紀

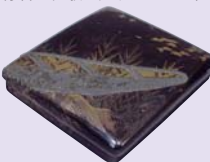
図柄の中に「君・賀」の2文字を隠し、長寿を祝う有名な和歌を表現しています



◎芦舟蒔絵硯箱

伝本阿弥光悦作

江戸時代・17世紀



13-1

-4/8⑩

◎銅梅竹透釣燈籠

千葉市中央区千葉寺町千葉寺址出土

室町時代・天文19年(1550)

畑野勇治郎氏寄贈

笠に天文十九年の銘があり、釜や鋳物の生産地として名高かった天明(てんみょう)で作られたと考えられます



◎白銅蓮池文簪

奈良県吉野郡天川村金峯山出土

平安時代・12世紀



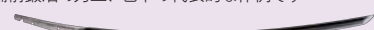
13-2

-4/8⑩

◎太刀 古備前包平(名物 大包平)

平安時代・12世紀

古備前鍛冶の刀工、包平の代表的な作例です



◎太刀 長船長光(号 大般若長光)

鎌倉時代・13世紀



13-3

-2/25⑩

◎色絵月梅園茶壺

仁清 江戸時代・17世紀

仁清色絵茶壺の代表作。梅樹の間から見える月の表現にご注目



2/27⑩-5/20⑩

◎色絵桜樹図透鉢

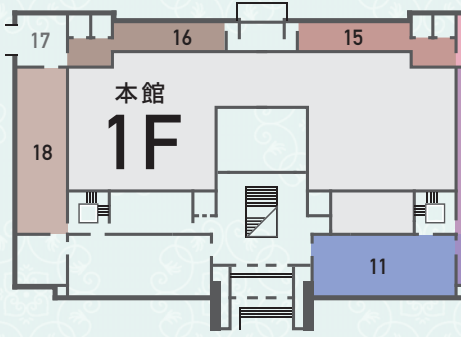
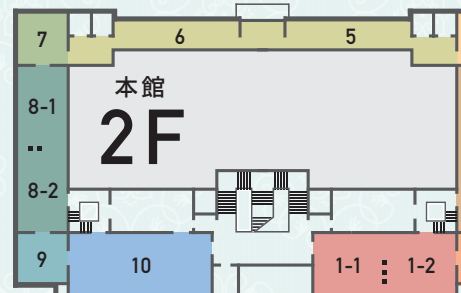
仁阿弥道八作

江戸時代・19世紀 →5ページ



[2月~]

本館展



10

浮世絵

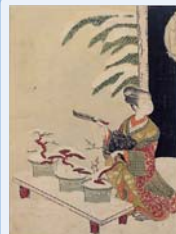
1/30⑩-2/25⑩

◎見立鉢の木

鈴木春信筆

江戸時代・18世紀

謡曲「鉢木」は、梅・桜・松の木が領地に替わるストーリー。これに見立てた美人画です



(2枚続のうち)

(部分)



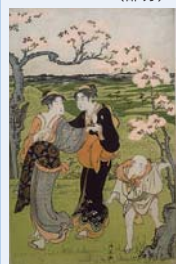
2/27⑩-3/18⑩

◎富嶽三十六景・

御殿川岸より両国橋夕陽見

葛飾北斎筆 江戸時代・19世紀

日が沈んだ黄昏時の江戸の町が遠くシルエットで見えます



3/20⑩-4/15⑩

◎飛鳥山花見

鳥居清長筆 江戸時代・18世紀

→4ページ

10

衣装

-2/18⑩

◎振袖 白綸子地雲御簾橋模様

江戸時代・19世紀

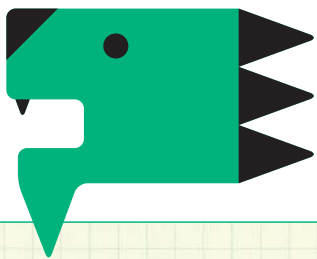
優雅で吉祥に満ちた振袖。仕立替なく現代まで遺された貴重な作品です



2/20⑩-4/22⑩

◎振袖 染分縮緬地枝垂桜菊短冊模様

江戸時代・18世紀 →5ページ



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 教育センター

教育普及事業

ART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び

講演会・ギャラリートーク・ガイダンス

講演会

連携講演会「呉昌碩とその時代」

日時：2月3日(土) 13:30~15:00

講師：鍋島稲子(台東区立書道博物館主任研究員)、富田淳(当館学芸企画部長)
日本に現存する作品を通して、呉昌碩の虚と実と光をあてます。

月例講演会「黒田清輝と明治の洋画—東アジア美術の視点から」

日時：3月31日(土) 13:30~15:00

講師：山梨絵美子(東京文化財研究所副所長)
1893年にフランス留学を終えて帰国した黒田清輝が日本洋画の展開に果たした役割、また、東アジアの油彩画における明治洋画の特異性を概観します。

桜セミナー「桜咲く絵画の世界」

日時：4月7日(土) 13:30~15:00 講師：田沢裕賀(当館学芸研究部長)
桜は、日本人に最も親しまれている花ではないでしょうか。桜の描かれた絵画を紹介し、その人気の秘密を考えます。

*会場は平成館大講堂、定員380名、聴講無料(ただし、当日の入館料が必要)
*開場は開始の30分前(予定)

ギャラリートーク

和歌山の埴輪—大日山35号埴輪出土品—

日時：2月6日(火) 14:00~14:30 平成館考古展示室

講師：河野正訓(考古室研究員)
二つの顔をもつ人物、翼を広げた鳥、力士や胡蝶などユニークな埴輪を紹介します。

演時代の弩機

日時：2月20日(火) 14:00~14:30 東洋館5室

講師：市元壘(特別展室主任研究員)
弩機はクロスボウの一種である「弩」の主要部品。遅くとも戦国時代早期(前4世紀)には登場し、秦漢時代にかけて普及しました。

アマルナ出土の古代エジプト資料

日時：2月27日(火) 14:00~14:30 東洋館3室

講師：小野塚拓造(東洋室研究員)
テル・エル・アマルナはアクエンアテン王が建設した前14世紀の王都の址。考古学者フリンダース・ビートリが発掘した貴重な資料について掘り下げます。

はにわ友達に
会いに来てほ



粋なお江戸のひな人形

*関連展示：本誌7ページ
日時：3月2日(金) 18:30~19:00 本館14室
講師：三田覚之(教育普及室研究員)
江戸地域を中心に作られた関東のひな人形について、鑑賞のポイントを語ります。

お人形の名品
がずらり!



トーハクの修理事業—これまでの歩みと課題

*関連展示：本誌7ページ
日時：3月13日(火) 14:00~14:30 本館特別1室
講師：土屋裕子(保存修復室長)
当館で行っている文化財修理の活動について紹介し、問題点や課題についても触れ、将来へ向けての目標についてお話しします。

正倉院染織品における修理仕様

*関連展示：本誌7ページ
日時：3月20日(火) 14:00~14:30 本館特別1室
講師：沢田むつ代(客員研究員)
当館では法隆寺と正倉院伝来の染織品を所蔵しています。これらは損傷状態等に応じた修理方法を採用しているので、それらの修理仕様をお話しします。

X線CT装置の保存修理への活用

*関連展示：本誌7ページ
日時：3月27日(火) 14:00~14:30
本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
講師：宮田将寛(調査分析室アソシエイトフェロー)
当館のX線CT装置の活用方法をご紹介します。通常では見る事のできない文化財の内部を調査し保存・修理に貢献しています。

立体作品修理の現場から

*関連展示：本誌7ページ
日時：4月3日(火) 14:00~14:30 本館特別1室
講師：野中昭美(保存修復室アソシエイトフェロー)
作品の状態や展示活用にあわせた処置方法の違いなど、修理の難しさやもしろさについて展示作品を見ながらお話しします。

東京藝術大学大学院インターンによるギャラリートーク

*各回15:30~15:50

横山大観の出世作を読み解く

日時：2月3日(土)・7日(水) 会場：本館18室 解説：木原天彦
横山大観の出世作「無我」。そのモチーフ、表現、タイトルを読み解きます。

東魏の如来三尊立像

日時：2月4日(日)・14日(水) 会場：東洋館1室 解説：閻志翔
中国・東魏時代の「如来三尊立像」。その魅力を表現と制作背景からご紹介いたします。

ART
2

五感を使った美術体験

ワークショップ・ツアー

事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

ワークショップ

ひいな遊び—立雛を作ろう!—

ひなまつりの伝統は、平安時代頃から行われた「ひいな遊び」にさかのぼります。今回のワークショップでは当館所蔵の「立雛」をモデルに、頭をつくって顔を描き、きものにする料紙(文様のある和紙)を摺って、自分オリジナルのお雛さまを作ります。

日時：3月3日(土) ①10:00~12:30 ②14:00~16:30

会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象：①小学生~中学生とその保護者 ②高校生以上

定員：①10組 ②20名(いずれも応募者多数の場合は抽選)



立雛 江戸時代・19世紀
展示期間：2月27日(火)~
3月18日(日) 本館14室

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームからお申込みください。

*①は1組5名まで申込可(ただし、1組で1対制作)、②は2名まで申込可
申込締切：①②ともに2月15日(木) 必着

日本文化との出会い「きもの体験」

日本の伝統衣装を着ることで、日本の美意識や生活文化を感じてください。お客様のカメラで写真撮影もできます。

日時：3月27日(火)~4月8日(日) 11:00~16:30(受付は~16:00)

*体験は1人1着、所要30分

会場：本館特別4室 定員：各日30名(当日会場受付、先着順)

*定員に達した場合、受付を終了することがあります

参加費：500円(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は、別途当日の入館料が必要) 協力：ハクビ京都きもの学院

お問合せ：TEL 03-3822-1111(代) 教育普及室

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

アートスタジオ

桜の根付作り

本館10室と高円宮コレクションの根付を見学した後、粘土を加工して桜をテーマにオリジナルの根付を制作します。完成品はお持ち帰りいただけます。

日時：3月24日(土) 13:30～15:30

会場：本館地下 みどりのライオン（教育普及スペース）

対象：高校生以上 定員：20名程度（応募者多数の場合は抽選）

参加費：無料（ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要）

申込方法：当館ウェブサイトのフォームから往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合は、「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな、(2)参加者全員の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。＊1枚のはがきで2名まで申込可

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室 「3月24日桜根付」係

申込締切：2月22日(木) 必着

事前申込制 [往復はがき]

庭園茶室ツアー

そうめん 草庵茶室に入ってみよう！

庭園内にある茶室の見どころについて解説します。通常のガイドツアーでは入らない「六窓庵」「転合庵」の内部までご案内します。

＊悪天候の場合は中止することがあります

日時：3月15日(木) 11:00～12:00



六窓庵でのツアー風景

定員：16名（応募者多数の場合は抽選）

参加費：無料（ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要）

申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな、(2)参加者全員の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。＊1枚のはがきで2名まで申込可

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室 「3月15日草庵茶室」係

申込締切：2月15日(木) 必着

事前申込制 [往復はがき]

応挙館での茶会

おうきょかん

応挙館 桜茶会

庭園の応挙館でお茶会を体験していただきます。

建物、および円山応挙によって描かれた障壁画などについてもあわせてご紹介します。

＊悪天候の場合は中止することがあります

日時：3月25日(日) ①11:00～12:00 ②13:00～14:00（各回とも同じ内容）

定員：各回15名（応募者多数の場合は抽選）

参加費：500円（ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は、別途当日の入館料が必要）

申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名（ふりがな）、(2)参加者全員の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号、(4)希望の回（①②いずれか）、(5)座いすが必要な方はその旨を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。＊1枚のはがきで2名まで申込可

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室 「3月25日応挙館桜茶会」係

申込締切：2月22日(木) 必着



応挙館

お問合せ：TEL 03-3822-1111 (代) ボランティア室

＊事前申込プログラムにお申し込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。

実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問合せください。TEL:03-3822-1111 (代)

＊各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

＊インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問合せください。

＊📍は「ヒアリンググループ」対応のイベントです。



海外の博物館と交流するほ！「学術交流」のおはなし

国際交流室

君波妙子アソシエイトフェロー



トナーハクは、韓国の国立中央博物館（以下中央博）と中国の上海博物館（上博）と学術交流協定を結んでいます。今回は、国際交流室の君波さんに学術交流についてお話をききました。



ガクジュツコーディネーターってどんなことをしているんだほ？



毎年2名ずつ、研究員をお互いの国に1～2週間派遣して、博物館や研究機関で調査をしています。これまでに日中韓合わせて計80名以上に派遣されています。



今年度はどんな人が来られたんですか？



中央博からは、一人は考古学と収蔵品データベース、もう一人は視覚デザインを専門とする研究員、そして上博からは、漆工と青銅器の専門家が東博に派遣されました。



何かテーマが決まっているのですか？



派遣される人の専門によって考古学だったり、絵画だったり、さまざまです。トナーハクの研究員の専門分野も幅広いので、いろいろな分野の研究者と交流ができます。



上博・包さんによる当館漆作品の調査風景



言葉はどうするのですか？



日本語がお上手な方もいらっしゃいますが、複雑な話を全て日本語するのは大変なので、通訳をつけています。これまで国際交流室には、私を含め英語あるいは中国語のできる職員しかいませんでしたが、今年の7月から韓国語の担当が増えました。



ずっとトナーハクで調査するんだほ？



いえいえ、希望に合わせて関西や九州、あるいは国内のもっと別の場所にある博物館や研究所の資料も調査に行くんですよ。



いろんなところに行けるんだほ！楽しそうだほ！



旅行を計画するのは大変そう……



皆さんお忙しいので、日程を合わせるのに苦労します。でも、訪問先の所蔵品についてこれまでわからなかったことが中央博や上博の研究者によって明らかになることもあり、学術交流は大事な、と思います。



みんなで協力していろいろ発見してほしいほ



徳島県立鳥居龍蔵記念博物館での調査で、中央博ユンさんから新たな知見が得られました



当館・猪熊主任研究員が、中央博の屏風を調査。宮中の宴会における調度品の使用例を確認しています

東京・春・音楽祭 -東京のオペラの森 2018-

- ①東博でパッハvol.37 野平一郎 (ピアノ)
日時: 3月17日 (土) 開演19:00 開場18:30
- ②東博でパッハvol.38 工藤すみれ (チェロ)
日時: 3月22日 (木) 開演19:00 開場18:30
- ③東博でパッハvol.39 上野耕平 (サクソフォン)
日時: 3月29日 (木) 開演19:00 開場18:30
- ④東博でパッハvol.40 島田真千子 (ヴァイオリン) & 北谷直樹 (チェンバロ)
日時: 4月4日 (水) 開演19:00 開場18:30
- ⑤東博でパッハvol.41 川田知子 (ヴァイオリン)
日時: 4月11日 (水) 開演19:00 開場18:30

会場: ①④平成館ラウンジ ②③⑤法隆寺宝物館エントランス

料金: 各回3,600円 (全席自由)

*チケットのお求め方法、並びにイベントの詳細は、東京・春・音楽祭ウェブサイト
(<http://www.tokyo-harusai.com/>) でご確認ください。

主催・お問合せ: 東京・春・音楽祭実行委員会 (TEL: 03-5205-6497)

夜の音めぐり~桜の街の音楽会スペシャル~

夜のトーハクを「東京・春・音楽祭」参加アーティストの織り成す音色で彩ります。

日時: 3月9日 (金) *各回20分程度

16:00~ サクソフォン四重奏 会場: 正門前 (雨天時は本館前)

16:40~ 豊永美恵 (クラリネット) & 竹内真紀 (電子ピアノ) 会場: 東洋館1室

17:30~ 黒川実咲 (チェロ) 会場: 本館大階段

18:30~ 黒川実咲 (チェロ) & 土屋恵 (アコーディオン) 会場: 平成館ラウンジ

19:30~ 豊永美恵 (クラリネット) & 竹内真紀 (電子ピアノ)

会場: 法隆寺宝物館エントランス

料金: 無料 (ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

主催・お問合せ: 東京・春・音楽祭実行委員会 (TEL: 03-5205-6497)

東京国立博物館賛助会のご案内

東京国立博物館では賛助会制度を設け、文化財の
購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の
充実に、幅広くご支援をいただいております。

◎年会費

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効

〈団体〉プレミアム会員 1000万円以上

特別会員 100万円 (1口)

維持会員 20万円

〈個人〉プレミアム会員 100万円以上

特別会員 20万円 / 維持会員 5万円

◎主な特典

特別展内覧会へのご招待
東京国立博物館ニュースの送付 など

◎申込方法

当館窓口、当館ウェブサイト (クレジット決済)、
銀行振込

◎お問合せ

電話 03-3822-1111 (代) 総務課賛助会担当

東京国立博物館賛助会員 2017年11月24日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
大日本印刷株式会社 様
株式会社 毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 オールパークエンタープライズ 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞東京本社 様
三菱商事株式会社 様

凸版印刷株式会社 様
公益財団法人 東芝国際交流財団 様
日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社 様
日本ロレックス株式会社 様
サロン・ド・ソネット 様
TABIZURU FOUNDATION 様
株式会社 みずほ銀行 様
一般財団法人 東京国立博物館協会 様
株式会社 東京書芸館 様

維持会員 団体

株式会社 三冷社 様
株式会社 東京美術 様
株式会社 鶴屋吉信 様
日本通運株式会社 美術品事業部 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 ミュージアムスタイルカフェ 様
株式会社 古美術数本 様
謙慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様

インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝学院 様
有限会社 システム設計 様
株式会社 インターネットインシアティブ 様
株式会社 小西美術工芸社 様
有限会社 ギャラリー竹柳堂 様
有限会社 青柳社 様
株式会社 モリサワ 様
アミ開発有限会社 名古屋支店 様
光村図書出版株式会社 様
株式会社 資生堂 様
株式会社 グラスバウアー・ジャパン 様

株式会社 デュナミス 様
株式会社 佐久間太熙堂 様
キッコーマン株式会社 様
公益社団法人 創玄書道会 様
高木 聖雨 様
一般社団法人 書芸文化院 様
株式会社 精養軒 様
株式会社 都市環境企画 様
ANAセールス株式会社 様
株式会社 清光社 様
一般社団法人 学士会 様
公益財団法人 書道芸術院 様

アズビル株式会社 様
セコム株式会社 様
株式会社 ニッセイコム 様
金剛株式会社 様
株式会社 ロイスタール 様
株式会社 岡村製作所 様
株式会社 GIC ジャパン 様
公益財団法人 アダチ伝統工芸技術保存財団 様
エクスロン・インターナショナル株式会社 様
正筆会 様
はごろもアース株式会社 様
有限会社 くんカンパニー 様

個人

プレミアム会員	榎田 良豊 様	神通 豊 様	篠田 喜弘 様	木越 純 様	高橋 明子 様	佐藤 美香 様	佐野 淑子 様	廣瀬 敏章 様	脇 素一郎 様	和田 文彦 様	藤本 久子 様
岩間 良孝 様	長谷川 英樹 様	神通 豊一 様	片山 正紀 様	井上 保 様	小塚 泰博 様	青山 慶子 様	中村 光宏 様	北田 俊也 様	本條 陽子 様	北山 卓 様	仲田 雅也 様
特別会員	池田 孝一 様	石川 公子 様	伊藤 喜雄 様	田中 信 様	星 八郎 様	谷内 一 様	菅野 良子 様	岩本 みち子 様	福井 一夫 様	荒井 淳子 様	青木 香織 様
永久 幸範 様	木村 剛 様	永田 美香 様	井上 雄吉 様	岡 靖子 様	西 義久 様	樋口 順一 様	中島 米治郎 様	堀川 佳津美 様	石井 勝世 様	伊藤 建次郎 様	染谷 克人 様
辻 泰二 様	観世 あすか 様	西岡 康宏 様	細川 孝子 様	古川 晴紀 様	木下 茂子 様	吉永 真代子 様	中久 久 様	瀧本 篤 様	石井 英司 様	宮森 景子 様	伊藤 翔司 様
谷川 紀彦 様	星望 由尚 様	友景 紀子 様	錦織 伸一 様	新関 日出夫 様	田浦 宏己 様	竹原 鈴子 様	神田 靖男 様	秋元 幸雄 様	長井 真理 様	田原 高子 様	石井 誠一郎 様
佐久間 基晴 様	渡辺 章 様	東野 治之 様	鈴木 幸一 様	岩本 光雄 様	山中 翠谷 様	長崎 益子 様	森本 晃生 様	中山 安弘 様	島谷 桂子 様	大山 仁 様	平井 智香 様
田中 将介 様	稲垣 哲行 様	竹下 佳宏 様	秋元 文子 様	山本 隆幸 様	寛口 大志 様	富山 仁美 様	石飛 博光 様	鈴木 健之 様	高野 成子 様	小田 周平 様	田中 久仁恵 様
井田 悦郎 様	飯岡 雄一 様	松原 聡 様	土師 詔三 様	山上 知子 様	関口 大志 様	高山 真行 様	清原 真里 様	野田 和佳子 様	森本 文子 様	田島 ヨシ江 様	大原 延恵 様
大山 孝良 様	高瀬 正樹 様	野澤 智子 様	鏡 賢太 様	名取 幸二 様	柳村 衛 様	渡辺 婦美 様	角田 保行 様	木村 則子 様	牧 裕子 様	沼尻 昭雄 様	飯浜 修 様
維持会員	寺浦 信之 様	坂田 浩一 様	野口 圭也 様	増淵 信義 様	梅澤 剛志 様	鈴木 深泉 様	三浦 恭之 様	水田 渉子 様	南 佳奈子 様	小森 義記 様	野島 信明 様
伊藤 信彦 様	高木 美華子 様	池谷 正夫 様	渡邊 雪絵 様	要 英範 様	小日向 志乃 様	今村 正 様	金光 真佐一 様	吉原 剛一 様	沖 斗南 様	那須野 さや佳 様	椎名 功 様
藪内 匠人 様	吉原 知良 様	木谷 昌巳 様	佐藤 謙一 様	安田 格 様	松前 達郎 様	供田 扶美 様	田辺 修一 様	本吉 丈夫 様	田中 和子 様	土志 嘉 様	小澤 真可 様
服部 悦子 様	古屋 光夫 様	渡辺 光夫 様	田中 榮二 様	筑紫 みづえ 様	佐藤 貴士 様	福正 武真 様	水野 和良 様	重田 綾子 様	伊藤 隆雄 様	本保 順子 様	小松 愛実 様
岩沢 重美 様	根田 裕美子 様	汐崎 浩正 様	山口 隆司 様	鳥山 玲 様	山田 隆義 様	竹内 和世 様	竹内 明世 様	五嶋 滋之 様	周藤 寛幸 様	佐藤 はるみ 様	米山 真満 様
高田 朝子 様	池嶋 洋次 様	平井 千恵子 様	原一之 様	栗山 哲夫 様	新保 幸男 様	岡野 一昭 様	平田 恭之 様	世川 統 様	山見 勝彦 様	面田 大介 様	酒井 淳 様
齋藤 孝子 様	是常 博 様	青山 道夫 様	会田 健一 様	根本 亨世 様	中野 俊介 様	伊藤 彰信 様	武井 伸之 様	柴 啓介 様	庄司 浩 様	佐藤 義昭 様	堀内 洋志 様
齋藤 邦裕 様	上野 孝一 様	高橋 静雄 様	相良 多恵子 様	岡田 良雄 様	井出 宗則 様	小林 浩和 様	羽石 史生 様	岩佐 恵子 様	三宮 信秀 様	三上 昌宏 様	曾根 史恵 様
和田 喜美子 様	北山 喜立 様	小中 千秋 様	鈴木 徹 様	阿部 和加子 様	土屋 和彦 様	加藤 正叙 様	長瀬 正行 様	向山 裕子 様	大貫 健司 様	三浦 邦夫 様	中村 将也 様
藤原 紀男 様	山田 泰子 様	今里 美幸 様	加藤 孝明 様	節田 久子 様	磯田 榮一 様	蔵口 真理 様	前田 寿子 様	上島 啓雄 様	中井 健二 様	近藤 雅美 様	黒田 賢一 様
中川 俊光 様	柴田 隆子 様	田中 望 様	楠 富久美 様	井茂 圭河 様	加納 隼人 様	宮下 雅博 様	笠原 勉 様	田中 真知子 様	石井 延隆 様	桑田 啓一 様	浪崎 俊充 様
関谷 徳衛 様	網村 安代 様	三井 達雄 様	櫻井 恵 様	高味 良信 様	林 和人 様	田代 雅彦 様	高木 結司 様	高田 明典 様	佐々木 裕明 様	長谷川 里津子 様	池嶋 洋次 様
高橋 守 様	日井 生三 様	坂詰 秀司 様	加藤 孝明 様	廣田 雅 様	清水 透石 様	昆 政彦 様	小河 恭子 様	根岸 順 様	鶴谷 舞 様	黒田 靖子 様	大類 泰郎 様
小澤 桂一 様	津久井 秀郎 様	吉田 靖 様	伊佐 健二 様	杉山 恭規 様	野本 陽代 様	高橋 薫 様	田中 三伊 様	小野 透 様	原田 清朗 様	小野 透 様	ほか141名、2社、順不同
上久保のり子 様	川澄 祐勝 様	松本 雅彦 様	軽部 由香 様	笹森 美子 様	福田 倫子 様	清田 志郎 様	黒河 英俊 様	竹中 洋介 様	横田 恭三 様	岩井 順一 様	順不同

プレミアム・フライデー@トーハク

2月 日本文化との出会い「宮廷の雅 十二単着つけ実演」

本館8室で展示されている女房装束「典侍服」は、いわゆる十二単。何枚もの衣を着つけていく様子をぜひご覧ください。美しい重ね色目も必見です。

日時: 2月23日 (金) (1)14:00 ~ (開場13:30) (2)18:00 ~ (開場17:30)

*各回内容は同じ。60分程度

協力: ハクビ京都きもの学院

3月 日本文化との出会い トーハク能「嵐山」

本館9室「神と鬼の風姿」、本館14室「日本の仮面 能狂言面の神と鬼」に関連した企画です。当館研究員の解説を聞いた後、京都・嵐山の満開の桜に宿るといふ神々が舞う、春の能を楽しんでみませんか?

日時: 3月30日 (金) 18:40 ~ (開場18:10) *60分程度

出演: 本田光洋 (金春流シテ方) ほか 演目: 嵐山 (公演は後場のみ)

定員: いずれも380名 (当日受付を含む) 会場: いずれも平成館大講堂

参加費: 無料 (ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法: 当館ウェブサイトのフォームでお申込みください。

申込締切: [2月] 2月8日 (木) 必着 / [3月] 3月15日 (木) 必着

ゆるキャラ® グランプリ2017 & 世界キャラクターサミット in 羽生2017 参加報告

昨年度に引き続き、「ゆるキャラ®グランプリ2017」にエントリーしました。結果は3375票獲得で、企業・その他部門で147位 (エントリー総数447件) / 皆様、応援ありがとうございました。



また、「世界キャラクターサミット in 羽生2017」にも参加し、トーハクをしつかりPR。京都国立博物館のトラりんと参加したパフォーマンスショーでは、みんなでダンスを披露し、会場を盛り上げました。

15歳を迎えた連携企画

「近隣の博物館が同一テーマを同時開催したら、より多くの作品を楽しめる!」。平成15年(2003)、蘭亭序を共通テーマとした台東区立書道博物館と当館との連携企画は、いざ開幕してみると意外に好評でした。その後チラシを発行し始め、平成21年(2009)「趙之謙」では助成金を得て48頁の図録を刊行。平成24年(2012)「宋時代の書」では80頁となり、15回目となる今回の「呉昌碩」では112頁に。まるでわが身を見るような拡大ぶりにとまどいながらも、目を見張るような展示と、心に残る感動を手繰り寄せられる図録を目指します。15年の来し方を活かしながら、次回、平成31年(2019)のテーマは「王羲之」! ご期待ください。(富田淳)



特別展「名作誕生一つながる日本美術」チケットプレゼント

特別展「名作誕生一つながる日本美術」(4月13日<金>～5月27日<日>→2ページ)の無料観覧券(10組20名様)をプレゼントします。締め切りは4月10日(火)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース2-3月号」プレゼント係



『MUSEUM』671号(2017年12月15日発行)の掲載論文

- ①「東京国立博物館所蔵今熊野亀塚瓦経と山根徳太郎旧蔵拓本」
加藤俊吾(大阪歴史博物館学芸員)
 - ②「続・名物「岡山藤四郎」について」
酒井元樹(当館工芸室主任研究員)
 - ③「まぼろしの「異国書翰屏風」について」
藤田励夫(文化庁文化財部美術学芸課)
- お問合せ: 当館ミュージアムショップまたは
中央公論事業出版(TEL: 03-5244-5723)



定価: 1,543円(税込)

TNM & TOPPANミュージアムシアター

VR作品『風神雷神図のウラ 一夏秋草図に秘めた想い一』
～4月22日(日)

自然に翻弄され、雨に濡れ風に揺れる繊細な草花。風の音すら聴こえるような一瞬を切り取った「夏秋草図屏風」を描いたのは、江戸時代後期に活躍した絵師、酒井抱一。抱一晩年の最高傑作である「夏秋草図屏風」は、実はある屏風の「ウラ」に描くよう依頼された作品であることをご存じでしょうか。その屏風とは、抱一が長年憧れを抱き、自らの絵画制作の師と仰いだ名匠の手によるものでした。抱一はどのような想いを込めて、その裏側に「夏秋草図屏風」を描いたのか。バーチャルリアリティならではの視点で、オモテとウラの関係性に隠された秘密を探ります。



料金: 一般・大学生・高校生500円、小学生・中学生300円

*未就学児、障がい者とその介護者1名は無料(1作品/1回あたり)

*総合文化展とセット購入で一般1,000円/大学生800円

*所要時間は約40分です。鑑賞には当日の予約が必要です。

*演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。

*詳細はウェブサイトをご覧ください。 URL <http://www.toppa-vr.jp/mt/>

東京国立博物館利用案内

開館時間:

9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

●金・土曜日は21:00まで

●いずれの場合も黒田記念館は17:00まで

休館日:

月曜日(祝日・休日に当たる場合は開館、翌平日休館)

●3月26日(月)、4月2日(月)は開館

●黒田記念館特別室の開室は3月26日(月)～4月8日(日)

*特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料金:

一般=620(520)円 大学生=410(310)円

●()内は20名以上の団体料金

●障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料



最新情報は、
ウェブサイト、Facebook、Twitter、
Instagram、メールマガジンで!

東京国立博物館ウェブサイト
<http://www.tnm.jp/>



東京国立博物館会員制度

東京国立博物館では、皆様のニーズに合わせて各種会員制度をご用意しております。

友の会

発行日から1年間有効

年会費 8,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を6枚配布、本誌の定期購読、ショップ、レストラン割引等様々な特典があります。

メンバーズプレミアムパス

発行日から1年間有効

年会費 一般5,000円、学生3,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を4枚配布します。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効

年会費 一般2,000円、学生1,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。

ニュース会員

東京国立博物館ニュースの定期購読

年会費 1,000円(6冊分)

【特典】年6回東京国立博物館ニュースをご自宅に送付いたします。メンバーズプレミアムパスとの同時申し込みで100円割引。

*次号よりご送付希望の場合、締切は3月10日(土)です。

〇申込方法

1. 会員専用窓口

当館正門前の会員専用窓口で即日発行いたします(現金またはクレジットカード)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申し込みください(クレジットカードまたは郵便振替(振替用紙を送付))。

3. 郵便振替

●振替用紙に①種別(友の会、プレミアムパス、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生)③氏名(ふりがな)、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号、⑦年齢、⑧性別、⑨メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)を通信欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名: 東京国立博物館会員制度

口座番号: 00140-3-791791

●振込用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。

●振替手数料はお客様負担となります。

●ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

*一度収められた料金の払い戻しはいたしません。

*各種イベントのお申込みに際してご提供いただいた個人情報、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

〇お問合せ

電話 03-3822-1111(代)総務課会員制度担当

*月曜～金曜日の9:30～17:00(土日・祝休日は除く)

FAX 03-3821-9680

1 木	東 11:00 特別展「仁和寺と御室派のみほとけ」
2 金	夜間開館 (21:00 まで) 法 15:00
3 土	夜間開館 (21:00 まで) 樹 11:00 講「呉昌碩とその時代」13:30 平成館大講堂 本 14:00 藝「横山大観の出世作を読み解く」15:30 本館 18室 ♥ 11:00、13:00、15:00
4 日	作 13:30 考 14:30 藝「東魏の如来三尊立像」15:30 東洋館 1室
5 月	休館日
6 火	建 11:00 G「和歌山の埴輪―大日山35号埴出土品―」14:00 平成館考古展示室
7 水	藝「横山大観の出世作を読み解く」15:30 本館 18室
8 木	庭 11:00
9 金	夜間開館 (21:00 まで) 英 14:00
10 土	夜間開館 (21:00 まで) 【仁和寺】講「仁和寺と御室派」13:30 平成館大講堂 陶 14:30
11 日	近 13:00 浮 14:00 彫 15:00
12 月・祝	
13 火	休館日
14 水	藝「東魏の如来三尊立像」15:30 東洋館 1室
15 木	彫 15:00
16 金	夜間開館 (21:00 まで) 樹 11:00 バックヤードツアー「保存と修理の現場へ行こう」14:00*
17 土	夜間開館 (21:00 まで) 建 11:00 【仁和寺】講「仁和寺と御室派のみほとけ」13:30 平成館大講堂 本 14:00 法 15:00
18 日	東 11:00 英 11:00 浮 14:00 考 14:30
19 月	休館日
20 火	G「漢時代の弩機」14:00 東洋館 5室
21 水	
22 木	本 14:00
23 金	夜間開館 (21:00 まで) ★「宮廷の雅 十二単着つけ実演」14:00、18:00 平成館大講堂
24 土	夜間開館 (21:00 まで) 刀 13:30
25 日	法 13:00 彫 15:00
26 月	休館日
27 火	G「アマルナ出土の古代エジプト資料」14:00 東洋館 3室
28 水	庭 11:00

【仁和寺】＝特別展「仁和寺と御室派のみほとけ」関連事業。申込みは締め切りました

★＝「博物館でお花見を」関連事業 (→4～5ページ)

★＝「プレミアム・フライデー@トナーハク」(→14ページ)

*1＝事前申込制。詳細は前号13ページ

*2＝詳細は14ページ *3＝有料イベント。詳細は14ページ

♥＝トナーハクくん＆ユリノキちゃん登場日

1 木	東 11:00
2 金	夜間開館 (21:00 まで) 法 15:00 G「粋なお江戸のひな人形」18:30 本館 14室
3 土	夜間開館 (21:00 まで) W「ひいな遊び―立雛を作ろう!―」10:00、14:00 本館地下教育普及スペース 樹 11:00 本 14:00 ♥ 11:00、13:00、15:00
4 日	考 14:30
5 月	休館日
6 火	庭 11:00
7 水	
8 木	庭 11:00
9 金	夜間開館 (21:00 まで) 英 14:00 ♪夜の音めぐり 16:00、16:40、17:30、18:30、19:30*2
10 土	夜間開館 (21:00 まで) 陶 14:30
11 日	近 13:00 浮 14:00 彫 15:00
12 月	休館日
13 火	G「トナーハクの修理事業―これまでの歩みと課題」14:00 本館特別1室 博物館でお花見を 春の庭園開放
14 水	
15 木	庭 11:00 彫 15:00
16 金	夜間開館 (21:00 まで) 樹 11:00
17 土	夜間開館 (21:00 まで) 樹 11:00 本 14:00 法 15:00 ♪東博でバツハ vol.37 19:00 平成館ラウンジ*3
18 日	茶 11:00、13:00 東 11:00 英 11:00 浮 14:00 考 14:30
19 月	休館日
20 火	G「正倉院染織品における修理仕様」14:00 本館特別1室
21 水・祝	
22 木	本 14:00 ♪東博でバツハ vol.38 19:00 法隆寺宝物館エントランス*3
23 金	夜間開館 (21:00 まで) 鑑賞ガイド 14:00 本館地下教育普及スペース
24 土	夜間開館 (21:00 まで) 樹 13:30 刀 13:30
25 日	茶 11:00、13:00 法 13:00 彫 15:00
26 月	特別開館 ♥ 11:00、13:00、15:00
27 火	W「きもの体験」11:00～16:30 本館特別4室 G「X線CT装置の保存修理への活用」14:00 本館地下教育普及スペース
28 水	樹 11:00 W「きもの体験」11:00～16:30 本館特別4室 鑑賞ガイド 14:00 本館地下教育普及スペース
29 木	W「桜めりえ」11:00～16:00 本館2階ラウンジ W「きもの体験」11:00～16:30 本館特別4室 ♪桜の街の音楽会 13:00 本館大階段 ♪東博でバツハ vol.39 19:00 法隆寺宝物館エントランス*3
30 金	夜間開館 (21:00 まで) 庭園ライトアップ (19:30 まで) W「桜めりえ」11:00～16:00 本館2階ラウンジ W「きもの体験」11:00～16:30 本館特別4室 G「古典の香り「春」」14:00 本館地下教育普及スペース ★トナーハク能 18:40 平成館大講堂
31 土	夜間開館 (21:00 まで) 庭園ライトアップ (19:30 まで) W「桜めりえ」11:00～16:00 本館2階ラウンジ W「きもの体験」11:00～16:30 本館特別4室 東 11:00 浮 13:00 講「東田清徳と明治の洋画」13:30 平成館大講堂 本 14:00 法 15:00 (5/20まで) (4/8まで)

講＝月例講演会等、詳細は12ページ (特別展関連事業→2ページ)

G＝ギャラリートーク、詳細は12ページ

W＝ワークショップ、詳細は12ページ

♪＝託児サービス実施日 (12:30～15:30)、事前予約制、有料

作＝ボランティアによるアートスタジオ、事前申込制、詳細は13ページ

*2月4日(日)の申込みは締め切りました

本＝ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合：本館エントランス

浮＝ボランティアによる浮世絵ガイド、集合：本館エントランス

陶＝ボランティアによる陶磁ガイド、集合：本館エントランス

彫＝ボランティアによる彫刻ガイド、集合：本館エントランス

樹＝ボランティアによる樹木ツアー、集合：本館エントランス

茶＝ボランティアによる応挙館での茶会、集合：本館エントランス (9:30から集合場所で整理券

配布、参加費500円、各回先着15名 ※3月25日(日)は事前申込制、詳細は13ページ

考＝ボランティアによる考古展示室ガイド、集合：平成館考古展示室入口

庭＝ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合：本館エントランス (9:30から集合場所で整理券配布、先着18名) ※3月15日(木)は事前申込制、詳細は13ページ

英＝ボランティアによる英語ガイド (日本美術の流れ)、集合：本館エントランス

建＝ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合：本館エントランス

近＝ボランティアによる近代の美術ガイド、集合：本館エントランス

刀＝ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合：本館エントランス

東＝ボランティアによる東洋館ツアー、集合：東洋館エントランス (2月は「仏像の旅」、3月は「東洋館ハイライト」)

法＝ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合：法隆寺宝物館エントランス

藝＝東京藝術大学大学院インターンによるギャラリートーク、詳細は12ページ

※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります